

令和02年11月04日

厚木県央ロータリークラブの皆様

神奈川県座間市緑ヶ丘4-20-21
社会福祉法人 成光福祉会
児童養護施設 成光学園
理事長・園長 矢部 雅



御礼と感謝状の贈呈について

貴クラブの皆様には、当法人の新型コロナウイルス関連児童緊急一時保護活動にご理解を示され、早速に協力金のご寄附を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。本日、感謝状をご用意致しましたので、お受け取り頂けましたら幸いです。

私ども社会福祉法人 成光福祉会は、神奈川県座間の地にて戦前から親に恵まれない子ども、生活の場を失った子どもの受入を行ってきました。

設立当時は「戦災孤児」の受入、戦後は米軍進駐軍による「浮浪児狩り」の収容施設、高度経済成長期は「コインロッカーベイビー」の保護などを積極的に行い、現在入所している児童の大半は虐待の被害児、残りは情緒障がい、知的障がいのために専門的なケアを必要とする児童が暮らしています。

今年に入り、コロナウィルスに感染した家庭で、子どもだけが陰性のため入院も出来ず、取り残されるケースが方々にみられるようになりました。

ロータリアンとしてというよりも、長くこのような仕事に携わってきた身としては、何とかこうした子ども達に安心して寝起きできる場所を提供しなければと、国内唯一（ということは県内でも唯一なのですが）の活動を始めました。

児童養護施設入所児童の寮とは別棟に場所を確保しましたが、もともと20人定員の寮を閉鎖して活動に充てましたから、この部分の収入が全く無くなってしまいます。当初は興味本位で「いくら儲かるんだ」と聞かれたものですが、1人1日千円すこしの保護費のみです。1食300円の食費と、感染予防の使い捨て食器だけで赤字になってしまいました。

人手も人件費の問題と、感染予防のために私が1人で対応しています。幸い、直接子どもの面倒を見る職員は、神奈川県が児童相談所職員の中から毎日当番でまわしてくれますので、その部分は心配なく助かっています。

お預かりする子ども達も、受入の時には陰性でも保菌している可能性、また、入所後発症して陽性になる可能性は大いにあります。連れてくる時には専用の車、運転手も防護服と物々しい出で立ちですが、私はいつも通りのかっこう（大体は作業服ですが）で迎え入れることにこだわっています。見ず知らずの場所に連れてこられて、防護服の大人がまるで汚物を見るような目で接しては、到底心を許すとは思えないからです。

最近では何不自由ない一般家庭から来る子どもばかりでなく、家出して野宿の末高熱で倒れ運び込まれる子ども、日本の制度では対応しきれない外国籍の子どもまでやってきます。

先述のように、お預かりしても数日で発症し、病院へ送られる子どももいます。私は「感染する恐怖」と、それ以上の「誰かに感染させる恐怖」を常に抱え、24時間1人で受入の対応にあたりながらこの半年を過ごしてきました。

来年度、座間クラブの会長を任せて頂きながら例会には殆ど出ず、心配して声をかけて下さった溝渕会長に、堰を切ったように窮状を吐露してしまいました。すぐに会長幹事会で辻AGはじめ第6グループの皆様にご知れるところとなり、思いがけず温かいご支援と、何よりも心の支えを得て、今日こうして踏みとどまることができました。

クラブ活動に関しても、滞在時間が長くないように、同席で飲食をしないように、など私なりにできる限り工夫をして参加をしていくつもりでおります。

皆様にはそれぞれのお仕事で、このコロナの被害を受けておられる事と存じます。その中であって、私どもの活動にご支援をお寄せ下さった皆様のお心遣いは何ものにも代えがたく、重ねて心より御礼申し上げます。

今年は何もかもが大変な、子ども達にとって窮屈な日々が続いておりますが、皆さまのお陰で何とか無事過ごすことができました。今後とも子ども達の事をよろしくお願い致します。ありがとうございました。

社会福祉法人 成光福祉会 理事長・児童養護施設 成光学園 園長

座間ロータリークラブ

矢部 雅文

